

☆。.:*:.'。★。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。☆。.:*:.'。☆。.:*:.'。
☆。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。☆。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。.:*:.'。

《熊本産業保健総合支援センターメールマガジン》

第244号(令和7年6月2日)

。★。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。☆。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。.:*:.'。
☆。.:*:.'。★。.:*:.'。☆。.:*:.'。★。☆。.:*:.'。☆。.:*:.'。

《コンテンツ》

◇産業保健研修会について

◇いろいろなお知らせ

1. 地域産業保健センターのご案内
2. 「自然災害又は大規模な事故等による災害被災者のための心と健康の相談ダイヤル」を設置
3. 「さんぽセンターWebひろば」
4. 令和7年度団体経由産業保健活動推進助成金の受付開始
5. 令和7年度両立支援コーディネーター基礎研修日程を掲載
6. 産業医名簿（水俣市・芦北郡）の情報を更新

◇主な行政・関連機関等の動き

【厚生労働省】

1. 【令和7年6月1日施行です】
労働安全衛生規則の一部を改正する省令
(令和7年4月15日厚生労働省令第57号)

【熊本労働局】

1. 令和6年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）
2. 「働き方改革」等関連資料（5月分）について

◇労災疾病等医学研究普及サイトのご案内 研究開発テーマ「メタボローム」について

◇コラム「お抹茶」

◇編集後記

◇ 産業保健研修会について

随時更新しておりますので、最新の情報は、ホームページをご確認ください。

オンライン研修及び産業医研修を追加しました。
<https://kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml#20180704004444>

～．．．～．．．～

<<オンライン研修>>

(※日本医師会認定の単位付与研修ではありません。)

◆◆◆

◆◆◆ ～5月・6月の研修予定～

◆

日 時：6月20日(金)14:00～15:30

研修テーマ：産業医と精神科医との連携【専門2単位】

講師：宮本憲司朗

休職診断書、復職診断書、休職中の治療の家庭における産業医と精神科医との連携について。また、産業医から精神科医への紹介のタイミングについて説明いたします。

日時：7月24日(木)14:00～16:00

研修テーマ：職場における目の健康課題とその対策

～目の不調とプレゼンティーズム～【専門1単位】

及び、日本医師会産業保健委員会～最近の動向～

【更新1単位】

講師：宮崎隆一

テレワークの実施率が低下傾向にある中でも、ビジネスパーソンの間ではテレワーク継続意向度は上昇傾向にある。デジタル機器による眼の弊害について課題とその対策を報告する。加えて、目の不調とプレゼンティーズムを考えてみる。また、「より良い産業医活動の在り方」に関する日医産業保健委員会の活動を報告します。

日時：7月30日(水)18:30～20:30

研修テーマ：ヒューマンエラー ～人の行動特性の類型化～

【専門2単位】

講師：加藤貴彦

「機械は故障し、作業者は誤りをおかす」。この大前提を自覚したうえで、産業保健対策は進められる必要がある。人の行動特性に原因のあるヒューマンエラーについて紹介し、参加者の方々と議論を深めたい。



いろいろなお知らせ

1. 地域産業保健センターのご案内

地域窓口（地域産業保健センター）は、労働者数50人未満の小規模事業場の事業者や労働者に対して、次の事業を原則として無料で提供しています。

※地域産業保健センターをご利用できない場合は、本社・支店等の産業医お近くの医療機関、健診機関、当センターホームページに掲載している産業医の先生方にご相談し、ご協力が得られないかご確認ください。

- (1) 労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- (2) 健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- (3) ストレスチェックに係る高ストレス者や長時間労働者に対する面接指導
- (4) 個別訪問による産業保健指導の実施
- (5) その他 労働者の健康管理や産業保健に関するご相談を受け付けています。

<https://www.kumamotos.johas.go.jp/areamed.shtml>

- ・阿蘇地域産業保健センター
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
- ・有明地域産業保健センター
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-82-8844
- ・天草地域産業保健センター
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
- ・菊池鹿本地域産業保健センター

- Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
- ・熊本地域産業保健センター
Tel 096-366-6788 Fax 096-366-6788
 - ・人吉球磨地域産業保健センター
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
 - ・八代水俣地域産業保健センター
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532

2. 「自然災害又は大規模な事故等による災害被災者のための心と健康の相談ダイヤル」

令和6年能登半島地震に伴う災害により被災された方からの相談の受付を始めました

労働者健康安全機構では、自然災害又は大規模な事故等により被災された方々（事業者、労働者及びその家族等）に対するメンタルヘルス及び健康に関する相談に応じるため、相談ダイヤルを設置しています。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20230606114132.html>

3. 「さんぽセンターWebひろば」

皆藤愛子さんが、「さんぽセンター」の取組についてご案内しております。

<https://www.johas.go.jp/Portals/0/sanpocenter/webhiroba.html>

4. 令和7年度団体経由産業保健活動推進助成金の受付開始
労働者健康安全機構では、「令和7年度団体経由産業保健活動推進助成金」の受付を開始しました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250526122903.html>

5. 令和7年度両立支援コーディネーター基礎研修日程を掲載

労働者健康安全機構のホームページに、令和7年度両立支援コーディネーター基礎研修会の日程を掲載しました。

令和6年度に引き続きオンライン形式で研修を開催いたします。（※計7回を予定しております。）

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250526115534.html>

6. 産業医名簿（水俣市・芦北郡）の情報を更新

当センターホームページ掲載の産業医名簿（水俣市・芦北郡）の情報を更新しました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250520161921.html>

◇ _____
主な行政・関連機関等の動き

【厚生労働省】

1. 【令和7年6月1日施行です】
労働安全衛生規則の一部を改正する省令
（令和7年4月15日厚生労働省令第57号）

～令和7年6月1日から施行です！～

令和7年4月15日付け厚生労働省令第57号において、労働安全衛生規則の一部を改正する省令が改正されました。

熱中症を生ずるおそれのある作業について、体制の整備、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置の内容及びその実施に関する手順を定めるものです。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250526091021.html>

【熊本労働局】

1. 令和6年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）

～ 死傷者数は、過去10年間で最多！！ ～

このたび、熊本労働局（局長 金成 真一）では、熊本県内の「令和6年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況（確定値）」を取りまとめられ、公表されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250522130049.html>

2. 「働き方改革」等関連資料（5月分）について

5月の「働き方改革」等労働行政に係る資料が、熊本労働局のホームページに掲載されました。

1. 令和7年度賃金引き上げ支援施策パッケージ
2. 令和7年度両立支援等助成金リーフレット

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20250516164543.html>

◇ 労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

研究開発テーマ「メタボローム」について

当機構では労働災害の発生状況や行政のニーズを踏まえ、労災補償政策上重要なテーマや新たな政策課題について、時宜に応じた研究に取り組んでおります。「労災疾病等医学研究普及サイト」では、これまで実施してきた研究成果について掲載しています。今回はその中で令和5年度に研究報告書を作成した研究開発テーマ「メタボローム」のうち「血漿メタボローム解析による過労死等関連生化学的指標の確立」に関する研究報告のご紹介です。

我が国においては、長時間労働による心臓・脳血管疾患のリスクが高まる危険性についてはこれまで数々の報告がなされており、過労死等の防止の観点から働き方改革関連法に基づく働き方改革等の取組や過重労働対策等が講じられています。本研究では過労死の中でも特に心血管疾患に至る予測因子・関連因子となる指標の確立を目指しました。研究の結果により、従来の指標よりも早期に診断可能となる新規の指標を明らかにし、過労による心血管疾患リスクの高い状態を早期に診断できる可能性が示唆されました。

なお、詳細な研究内容については、下記URLからご覧いただけます。
→<https://www.research.johas.go.jp/metabolome/index.html>

